

議員と市民の勉強会開催のご案内

第2回「居住に関わる新たなセーフティネット政策の考え方」

日頃より、大変お世話になっております。

このたび、表記テーマについて第2回勉強会を開催します。前回の第1回（7月27日開催）では、1950年代から今日に至る住宅政策とセーフティネットの関わりの変遷を概観しました。公営住宅政策に住宅近代化の先導役と低所得者向けの福祉の役割が混在し、1990年代になって、その矛盾が顕在化して、公営住宅法の大改正、住生活基本法の制定など市場重視の住宅政策へと大きく転換したが、格差拡大、社会不安拡大という問題に直面し、住宅セーフティネットの充実という視点から、公営住宅と生活保護制度の再編が課題となっているとしました。

今回は、住宅セーフティネットの政策課題をまとめ、政策提案として①空き家活用によるセーフティネットの充実、②持ち家世帯のホームシェアの拡大の2点を示し、これに関連する事例報告と意見交換を行いたいと思います。

つきましては、ご多忙とは存じますが、ぜひご参加のほどお願いいたします。

記

1. 日 時：2012年8月24日（金）10：30～11：45

2. 会 場：衆議院第2議員会館 会議室（B1）

3. プログラム

1) 講演：「住宅セーフティネット政策の課題と提案」

小林 秀樹 千葉大学教授・もうひとつの住まい方推進協議会代表幹事

2) 事例報告①：

「既存ストック・空き家活用によるセーフティネット住宅づくり
～生活困窮者等への支援付き住まいの提供～」

佐久間裕章（「ふるさとの会」理事長）

3) 事例報告②：『高齢者所有の空き室有効活用（ホームシェア）』

園原一代（ハートウォーミングハウス代表）

4) 意見交換（質疑）

4. 主 催：もうひとつの住まい方推進協議会

●参加申し込み：メール又はファックスにて下記へ8/22までにお申し込みください。

もうひとつの住まい方推進協議会
新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASK5F
03-3205-6840 F03-3200-9250
info@ahla.jp http://www.ahla.jp
事務局 佐々木美貴